

「第72期生、卒業おめでとう！」

戦国時代、豊臣秀吉の知恵袋といわれた黒田官兵衛(黒田如水)の教えです。

水というものを通して、人間としての生き方を教えてくれる言葉です。

※卒業式 式辞より 抜粋～「水五訓」

- 一. 自ら活動して他を動かしむるは水なり
- 二. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり
- 三. 障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり
- 四. 自ら深くして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり
- 五. 洋々として大洋を充たし発しては蒸気となり雲となり雨となり
雪と変じ霰(あられ)と化し凝(ぎょう)しては玲瓏(れいろう)
たる鏡となりたえるも其(その)性を失はざるは水なり

一が伝えたいことは、「率先垂範せよ」ということ。

水は自らが動くことで周りのものを動かし、運んでいきます。人間も、自らは何もしないままで、ああしろ、こうしろと言っても、誰も動くはずがありません。自ら模範を示すことによって周囲を牽引する人になってください。

二が伝えたいことは、「自ら考えて道を拓くことを心がけよ」ということ。

水はどんな環境の中でもその流れを止めることなく動いていきます。何か失敗をした時に、周りのせいにしていませんか。自ら考え、努力することで道を切り拓いていく人になってください。

三が伝えたいことは、「あきらめることからにはなにも生まれない」ということ。

順調な水の流れもダムという壁によってさえぎられることもあります。そんな時は、その力を満々と内に蓄えます。蓄積された力があるからこそ、解放された時に巨大なエネルギーを発揮できるからです。困難に直面して、自分の可能性をあきらめてしまっはいけません。苦しい時もじっと耐えて努力を続けていけば、大きな力となってかえってきます。

四が伝えたいことは、「人を追いやることをせず共に頑張ろう」ということ。

学校や社会にはさまざまな価値観を持つ人が集まっています。感覚、リズム、方法、価値観の合わない人を排除するのではなく、「長所をみつけてそれを生かす」ことをまず考えましょう。川は、脇から濁った水が注がれてきても、「入ってくるな」とか「出ていけ」とは言いません。さまざまな水を一つにまとめ、大きな目的に向かって集約していくような、そんな度量を持つ人になってください。

五が伝えたいことは、「常に自然の理(ことわり)にそって物事を考えよ」ということ。

水は温度の変化、器の形によって次々と自らの形を変えます。しかし、その本質は一切変化することがありません。我々人間もまた、変化に対応するのに常に柔軟でなければいけません。与えられた環境の中でいかにして最大の努力を行えるかが大切です。

これから先、色んな困難にぶつかり、迷うことや立ち止まることもあるでしょう。

そのときにはこの「水五訓」を思い出してみてください。きっと、あなたの道標になってくれることでしょう。

《保護者の皆様へ》

保護者の皆様一言お祝いとお礼を申し上げます。「お子様のご卒業、誠にありがとうございます。」
中学時代は、心身ともに大きく成長する時期で不安定な時もあり、ご苦勞もあつたことと思いますが、今日の晴れ姿をご覧になり、喜びも一入のことと思います。「心からお祝い申し上げます。」

また、この三年間の教育には、至らない点もあつたことと思いますが、これまで本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。

同窓会入会式

3/8の4校時目、本校体育館において「同窓会入会式」を行いました。

入会式には、同窓会副会長の末谷 進一様にご来校いただき、新会員92名へ歓迎の挨拶をいただきました。

末谷様からは、第二中学校が創設された昭和22年当時の西帯広の様子について、紐解いていただくなど92名の新会員のために貴重なお話をいただきました。

同窓会も今年の第72回卒業生92名を加え、同窓7510名になりました。今後も教職員一同、皆さんを見守り、皆さんの活躍を楽しみにしたいと考えています。また、皆さんには同窓会員として母校を応援し、後輩達を激励してもらいたいと思っています。新入会員の皆さんの前途が輝かしいものであるよう心から祈念します。

小学校へ出前授業

3/7～11に西小、つつじが丘小に出前授業を行ないました。トランプを使った数学の授業でした。中学校で始まるプラスとマイナスの概念についての説明と、グループによる学習を行ないました。元気な6年生の声を聞くことができました。

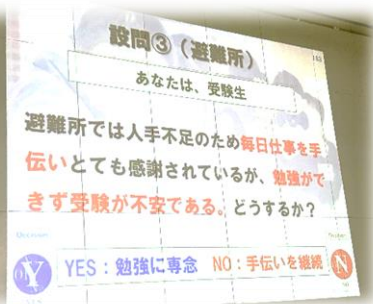


3.11 防災講座～あれから8年～

3/11には3年生を対象に『防災講座』を実施しました。

この日は東日本大震災から8年を迎える日。また胆振東部地震から半年あまりが過ぎた頃でもあったことから「忘れてはいけない記憶」さらには「備える意識」について講話をいただきました。

後半では、防災ゲーム「クロスロード」を実施。生きる力としてこのような知識を大切にしていってほしいと思います。



—

—

